

Title	a+a 美学研究 第11号 奥付
Author(s)	
Citation	a+a 美学研究. 2017, 11
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/90150
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

第1章 近代工芸運動

一九世紀後半の英国におけるインテリアの位置	北村仁美	014
ドイツの近代工芸運動——ミュンヘンとドレスデンを中心に	池田祐子	026
柳宗悦の佛教美学	猪谷 聡	042

第2章 デザインの言葉たち

デシグナーレ考	横道仁志	056
つくる・風情・風流——日本におけるデザイン意識の古層	土田耕督	072
手・様・体——筆跡 ^{ふてあと} の語られ方をめぐって	萱 のり子	086

第3章 デザイン教育史

イタリアの「デザイン」教育	平井直子	104
ウルム造形大学における脱バウハウス思想	高安啓介	118
映像による美的コミュニケーション教育	要 真理子／前田 茂	132

第4章 デザインミュージアム

フランス第二帝政期の装飾芸術と展覧会	島本英明	148
新しいミュージアムのかたち—— ^{ファクトリーラボトリーインスティテュート} 工場・製作室・研究所	三木順子	164
ロボットをめぐる展示の問題	村上 敬	178

第5章 デザインの東西交流

朝顔のジャポニスム——園芸と工芸と文芸	橋本順光	196
英国人リパティの日本視察	平光睦子	210

a+a 美学研究

第11号

発行日 2017年3月31日

編集委員 高安啓介
田中 均
土田耕督
佐藤紗良
釜本真有
井上めぐみ

編集・発行 大阪大学大学院文学研究科
比較デザイン学クラスター|美学研究室
〒560-8532 大阪府豊中市待兼山町1-5

装丁・組版 松本久木

印刷・製本 株式会社ケーエスアイ

©2017大阪大学美学研究室

Printed in Japan

ISSN 1346-1095

『a+a美学研究』は、美学の知をより多くの方々と共有できることを目指しています。新しい研究を紹介する学術雑誌としての機能を保ちながら、美学への理解を深めたい学生にとっても、芸術に興味のある読者にとっても、知の道標となるような特集をこれから組んでいきます。捨てられないように、1冊の本のような価値のある冊子にしてゆきます。大阪大学美学研究室は、この雑誌の編集にあたって、コミュニケーションの様態への関心から、知の内容だけでなく知の形式についても反省をめぐらし、見出された知見がいかに社会のうちに浸透していくのか、重要と思われる事柄がいかに社会のうちに共有されるのか、美学の思考をそこまで駆り立ててみたいと思います。